

見 積 仕 様 書 (案)

1. 見積方法

- ・下記に記載した適用範囲及び見積もり条件で、排水性舗装の切削オーバーレイ工（急速施工）の単価を算出してください。
- ・見積もりにあたっては、「土木工事施工管理基準（平成30年8月）大阪府都市整備部」に準じた施工を行うこととして作成をお願いします。

【適用範囲】

- ①路面切削機により、平均深さ7cm以下の切削作業をおこない、切削した舗装厚分を1層で即日舗設する作業
- ②路面切削機により、平均深さ7cmを超え12cm以下の切削作業をおこない、切削した舗装厚分を2層で即日舗設する作業

2. 見積条件

- ・切削面積の大きさによる単価の算出をお願いします。

面積A (m ²)	4000m ² 以下
	4000m ² 超え

- ・施工時間によって異なる単価の算出をお願いします。

昼間作業	K0
夜間作業	K1
夜間作業（時間的制約割増）	K2
夜間作業（著しい時間的制約割増）	K3

K2：時間的制約（作業時間が7時間/日を超え7.5時間/日以下）を受ける場合の補正係数

K3：時間的制約（作業時間が4時間/日以上～7時間/日以下）を著しく受ける場合の補正係数

1. 昼間作業、2. 夜間作業、3. 夜間作業（時間的制約有）、4. 夜間作業（著しい時間的制約有）の4種類の算出をお願いします。

- ・排水層（路肩30cm部分）の設置の有無による単価の算出をお願いします。

排水層（路肩から30cm部分）	設置する
	設置しない

設置する場合は下記項目を含めた単価の算出をお願いします。

- ・【適用範囲①】について、路肩から30cm部分は、更に平均切削深5cm以上の切削作業をおこない、ドレーンパイプを設置し、ポーラスアスファルトにて、切削した舗装厚分を即日舗設する作業を含みます。

- ・【適用範囲②】について、路肩から30cm部分は、ドレーンパイプ設置後にポーラスアスファルトにて、切削した舗装厚分を2層で即日舗設する作業を含みます。

- ・諸雑費は下記項目の費用となります。各項目を含めた単価の算出をお願いします。

ただし、【諸雑費6】については、ありとなしの2種類の算出をお願いします。

【諸雑費1】切削作業に使用する雑器具（スコップ、ホウキ等）の費用

【諸雑費2】路面切削機のビットの消耗費

【諸雑費3】路面清掃車のブラシの消耗費

【諸雑費4】瀝青材料の散布費用

【諸雑費5】舗装用器具及び加熱燃料等の費用

【諸雑費6】切削に伴う段差すりつけ設置、撤去にかかる費用

- ・使用する機械、規格は下記を標準とします。

作業種別	機械名	規格
路面切削	路面切削機	ホイール式・廃材積込装置付・排出ガス対策型(第2次基準値) ・切削幅2.0m ・切削幅0.3m
路面清掃	路面清掃車	ブラシ・四輪式 ホッパ容量1.5m ³
合材敷均し	アスファルトフィニッシャ	ホイール型・排出ガス対策型(第2次基準値) 舗装幅2.4～6.0m
合材締固め	ロードローラ	マカダム・排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t 締固め幅2.1m
	タイヤローラ	普通型・排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量8～20t
	振動ローラ	振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t
	振動コンパクタ	振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg

- ・その他の補正等については下記の通りとします。

- ・本作業は、切削、廃材積込、清掃、瀝青材量散布、敷均し、締固めの一連の作業を含みます。
- ・アスファルト混合物、瀝青材料費は含みません。
- ・廃材運搬費用は含みません。
- ・施工箇所間及び機械待避場所と施工箇所間の自走による移動を含みます。
- ・平均切削深は、1現場の平均切削断面積（m²）を平均切削幅員（m）除した値とします。
- ・表層、排水層のポーラスアスファルト混合物の締固め後密度は、2.00 t / m³を標準とします。
- ・中間層のアスファルト混合物（粗粒度アスファルトを想定）の締固め後密度は、2.35 t / m³を標準とします。

3. 見積書の取り扱い

- ・本見積は、排水性舗装の切削オーバーレイ工（急速施工）の資材等調査単価として使用するものであり、その他の目的には使用致しません。